

世代を超えて受け継ぎ育む！

●浦高同窓会地域職域同窓会責任者会議！
 本日 13 時 30 分からは 22 地域職域同窓会から 39 名の会長や事務局長等、本部同窓会からは川野幸夫会長のほか 4 名の副会長・19 名の常任理事等が参加して**地域職域同窓会責任者会議**が行われました。

13 時 30 分から、川野会長、杉山浦高校長のご挨拶に続いて、21 地域の地域職域同窓会からの報告が一巡し、15 時 10 分から「百年の森の活動」と「春日部地区浦高会の活動」の 2 つの報告が続きました。

＊ ＊

◆「浦高百年の森」の 10 年

浦高百年の森運営委員会 玉熊英一委員長(高 26)
 寄居町風布に広がる「浦高百年の森」も、2005 年 10 月 1 日の植栽以来、会員による植栽・維持活動も 10 年を過ぎ自生するまでに育てて来ました。そうした森のこれまでの活動を報告いたします。



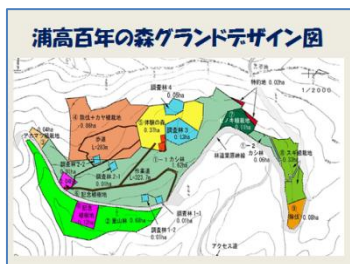
場所は埼玉県北西部の寄居町の山間部、荒川の源流の一つである風布川の上部に位置する約 5ha の土地です。事業主旨は、

浦高が掲げる「尚文昌武」(文を尊び、武を盛んにする)という文武両道の伝統に、「環境」という新しい伝統を加える。人間のエネルギー源である緑の森を、今後百年余の同窓生が、世代を超えて受け継ぎ育てていくというものです。

ここで、20 世紀の環境問題への対応と取り組みをご紹介します。〔中略。〕

こうした世界的な環境への取り組みを踏まえて、「浦高百年の森」事業の目的は、

1. 「タベにうたふ荒川の水万歳の声高し」と校歌に謳われている埼玉の母なる川・荒川上流の森を再生し、郷土の環境保全を図る。
2. 寄居町風布の民有林 5ha を借り、有用な広葉樹林を残しながら、針葉樹・広葉樹を植栽して、森の再生を目指す。
3. 植林や植生観察などを通し、森の大切さ、森を育てることの苦労と喜びを経験して行く。
4. 毎年、年 3 回の作業を、OB を中心に生徒、PTA、家族等がボランティア活動で行なう。…の 4 つです。



◆里山林(0.80ha)：林道沿いの伐採跡地を里山林に復活



◆カシ林(1.68ha)：クリの栽培のためクリがあったが、病虫害等により不良な森林状態なので、自然植生と考えられるカシ林を再生



◆スギ林(0.33ha)：土壌が厚く水分もありスギの生育適地であるので、スギ林を育成。このスギは将来浦高の校舎の材料とする



◆ヒノキ林(0.11ha)：急傾斜の伐採跡地であるためヒノキ林を育成。このヒノキは将来浦高の校舎の材料とする



◆体験の森(0.37ha)：耕作放置地であるのに覆われていたが、作業の体験ができるエリアとして低木等を植林。作業小屋や井戸等を整備



埼玉県内で私たちの森が先駆けとなり、熊谷高校(08・長瀬町)、浦和第一女子高校(09・寄居町)、秩父農工科学高校(10・秩父市)、川越高校(12・飯能市)と続いています。寄付も 6 千万円を超えました。これからも多くの皆様の参加をお願いします。(完)

◆春日部地区浦高会の活動

第7回地域職域同窓会責任者会議報告

春日部地区浦高会の活動

1. 年間活動
2. 特徴的な活動
 - (1) 地域貢献活動
 - (2) 久喜麗和会との小旅行
 - (3) 会報「喫茶去」発行
3. 年間予算
4. 後継者への引き継ぎ

1. 年間活動 (平成25～26年)

- 9月 総会 (第1日曜日)
- 10月 東京リバークルーズ
- 11月 春日部麗しの杜・補植
- 12月 事務局会議
- 2月 野鳥観察会、賀詞交歓会
- 3月 バス小旅行「桃の花咲く古河」
- 4月 ゴルフコンペ
- 5月 春日部麗しの杜・草刈り
- 6月 幹事会

1. 年間活動 ◆9月 総会 (第1日曜日)

- ①総会審議 (約30分)
- ②会員スピーチ (約40分)
- ③懇親会 (約2時間)
- ④幹事懇親会 (約1時間)



1. 年間活動 ◆10月 東京リバークルーズ

- モーターボートを借り切り
小岩～中川～荒川～隅田川～
日本橋川～神田川～隅田川～
東京湾～中川～小岩
(1艘7人、約6時間)



2-(1)地域貢献活動 ◆麗しの杜づくり

「創立10周年記念事業」(2010年～)

本部が「浦高百年の森」で環境づくり、
⇒ 地域でも環境づくりに貢献したい!

◆春日部市の公園の一部に植栽

◆4年間で、75本の中木を植栽、約100万円

(みどりの埼玉づくり県民提案事業・緑のサポーターズクラブ制度を活用)



◆記念植樹(2010/10)



三輪昭彦会長、香田寛美副会長(前事務局長)

春日部地区浦高会の活動について報告させていただきます。本日の報告内容は、

1. 年間活動
2. 特徴的な活動
 - (1) 地域貢献活動
 - (2) 久喜麗和会との小旅行
 - (3) 会報「喫茶去」発行
3. 年間予算
4. 後継者への引き継ぎ

◆です。年間活動は、9月の総会から始まり、25年度は東京リバークルーズ、春日部麗しの杜・補植、翌年度の事業計画を練る事務局会議、麗しの杜での野鳥観察会、賀詞交歓会、久喜麗和会とのバス小旅行、ゴルフコンペ、春の杜草刈り、年度決算と予算を決める幹事会です。

◆その中で、特徴ある活動の一つは、「東京リバークルーズ」です。モーターボートを借り切り、6～7名が6時間、東京の川を巡りながら懇親を深める企画です。二つ目は、創立10周年事業の地域貢献活動「春日部麗しの杜づくり」です。

春日部市内の市営公園を借用して2010年から

4年間で75本の5m～10m位に育つ中木を植えてきました。全体同窓会が県西部の寄居町で「環境づくり」を展開していることを鑑みて、県東部でも「環境づくり」に挑戦しようというものです。次に今年から3年間を予定しています創立15周年事業は、全体同窓会の「人づくり」の意志を引き継ぎ、春日部市が進めている音楽のまちづくりを踏まえて同窓の富田千種さん(19回)のご協力もいただいて「音楽の都・ウィーンからの贈り物」を予定しています。

◆次は単独ではできないので、久喜麗和会と合同で行っているバス小旅行です。川越、古河と訪ね、今年は「百年の森」を予定しています。そして会報「喫茶去」は、14年間で162号を綴っています。最後に後継者への引き継ぎとして、若い人々には早い時期から役割を担ってもらっています。

◆樹名板取付と野鳥観察会(2015/02)



2-(1)地域貢献活動

◆音楽の都・ウィーンからの贈り物

「創立15周年記念事業」(2015年～3年間予定)

本部が「奨学財団」で入づり、
⇒ 地域でも人づくりに貢献したい!

◆中高生のためのクラシック

コンサートと出前講座

(春日部市地域力アップ事業を活用)

(富田千種氏の協力を得る)

※平成26年10月に前報として「チャペルコンサート」を実施し60名の皆様へ聴かせたい!



2-(2)久喜麗和会との小旅行

「川越の桜と歴史・文化を楽しむ」(2013年4月)

「桃の花咲く古河を味わう」(2014年3月)

「浦高百年の森と鉢形城の旅」(2015年4月予定)

単独ではなかなかできない企画も、

⇒ 地域同窓会同士が協力することで!



2-(3)会報「喫茶去」の発行

会報「喫茶去」(2001年～2015年、現在158号発行)

【目的】

・会員相互の情報共有化

・活動等の記録

【配信方法】

・メール配信、時々郵送



※「喫茶去(きささこ)」とは、「よう来た、どうぞお茶でも召し上がり」という意味の雑言で、

茶道の世界で書かれている言葉です。春日部地区浦高会の集まりが、

どなたにもようこそお越しくたさいました。どうぞゆっくりとお茶(お酒)

をお召し上がりください。」とおもてなしのできる会であり続けたいと願

い命名しています。

3. 年間予算 (平成26年)

◆収入・支出 総額76万円

【収入】総会会費、賀詞交歓会会費 @7,000円

年会費 50名×@2,000円、繰越金 20万円程度

【支出】総会・賀詞交歓会費用 40万円程度

小旅行補助金 7万円

コンサート費用7万円(15周年事業は50万円程度)

奨学財団寄付金 2万円、事務局費 5万円程度

◆麗しの杜づくり事業積立金

開始時 30万円スタート 現在残高 5万円程度

4. 後継者への引き継ぎ

2001年

会長: 石井 治(中48)、副会長3人(高4、高11、高16)

事務局長: 三輪昭彦(高15)、会計: 田村友彦(高16)

2005年

会長: 三輪昭彦(高15、副会長から)

顧問: 石井 治、副会長3人(高11、高16、高16)

事務局長: 香田寛美(高25)、会計: 牛久保 聡(高32)

2014年

会長: 三輪昭彦(高15、副会長から)

顧問: 石井 治、副会長3人(高11、高16、高16、高25)

事務局長: 牛久保 聡(高32)、会計: 竹内 遼(高44)

※早い時期に若い人たちに役割を持ってもらう!